



ピアノ

取動 買移 調律 修理 90台展示

何でもお任せ下さい

朝日楽器

1973年

059-378-8466

鈴鹿市阿古町22-12

四日市 北星高生 歴史や特徴学ぶ

四日市市茂福の北星高校で十三日、富田地区に伝わる「鳥出神社の鯨船行事」について学ぶ授業が開かれた。定時制の午前部、午後部、夜間部の三回に分けて授業があり、計約二百七十人の生徒が参加して伝統文化への理解を深めた。(片山さゆみ)

同会の加藤正彦会長が講師を務め、歴史や特徴を映像や写真で紹介した。富田地区には四つの鯨船があり、北島組の神丸は朝の穏やかな海、中島組の神徳丸は昼の太陽を受けて輝く海、南島組の感應丸は午後の荒々しい海が横幕に表現されていると説明。漁師町ではない古川町の権現丸は、横幕に千鳥と波の刺しゅうがあり「こじやれた雰囲気がある」と話した。

鳥出神社の鯨船行事 授業で

鳥出神社の鯨船行事は、約二百年前の江戸時代後期に始まったとされ、毎年八月に披露される。豪華な鯨船山車と、張りぼての鯨との激しい攻防が見どころで、全国二十三の「山・鉾・屋台行事」の一つとして国連教育科学文化機関(ユネスコ)無形文化遺産に登録されている。地域の伝統や文化に興味を持ち、地域社会に参画していく力を生徒に身に付けてもらうようと、同校が富田鯨船保存会連合会の協力を得て開いた。授業は



鯨船行事の特徴や歴史を紹介する加藤会長(左)＝四日市市茂福の北星高で

保存会講師でオンライン

地区内の少子高齢化が課題となっており、踊りや唄といった「無形」部分と、鯨船の修理技術など「有形」部分の両方の継承が難しくなっていると指摘。四日市大の学生や市民に参加してもらったり、市教委と協力して映像記録に残したりと継承に向けた取り組みを紹介した。「まずは祭りに関心を持ってもらい、いざれ関わってもらえたらうれしい」と呼び掛けた。

竹内愛莉さん(ひきは「ストーリー」性がある行事に心引かれた。後世に残すために自分ができることがあればやってみよう」と話した。後藤田蓮奈さん(ひきは「地域の人が大事にしてきたことが分かり、後世にも伝えていくことが必要だと感じた」と話していた。